

一関市議会 総務常任委員会 記録

会議年月日	令和6年3月25日(月)			
会議時間	開会	午後1時30分	閉会	午後2時02分
場 所	第2委員会室			
出席委員	委員長 沼倉 憲二		副委員長 佐藤 幸淑	
	委員 小岩 寿一		委員 千葉 栄生	
	委員 佐々木 久助		委員 岩 渕 典仁	
	委員 武田 ユキ子		委員 千葉 幸男	
遅刻	遅刻 なし			
早退	早退 なし			
欠席委員	欠席 なし			
事務局職員	石川主査			
出席説明員	なし			
本日の会議に付した事件	所管事務調査 ・先進地視察について			
議事の経過	別紙のとおり			

総務常任委員会記録

令和6年3月25日

(午後1時30分 開会)

委員長 : ただいまの出席委員は8名であります。

全員の出席ですので、これより本日の委員会を開会します。

録画、録音、写真撮影を許可しておりますので、御了承願います。

これより、所管事務調査を行います。

初めに、先進地視察についてを議題といたします。

先の委員会において、委員の皆様から行政視察の希望調査を行い、視察先を選定することとしておりました。

委員の皆様から最終的に提出いただきましたテーマ、視察先については、タブレットに掲載の行政視察希望調査結果のとおりであります。

視察先を選定するに当たり、改めて事務局案も含めて、先進地視察を作成しましたので書記より説明させます。

石川書記。

書記 : それでは説明をさせていただきます。

まずは、皆様にメールで資料をお送りしておりましたので、そちらを開いていただきたいと思えます。

今日送った資料で、先進地視察の提案についてという資料になります。

それでは、説明いたします。

行政視察希望調査につきましては、何人かの委員の方々から視察先についてテーマと内容、それから具体的な都市名などについて提案がありました。

その結果につきましては、行政視察希望調査結果ということでタブレットに掲載しているとおりでございます。

これら結果に事務局案を含め、令和6年度の視察先の案としてまとめたものを、タブレットの先進地視察の提案についてという資料に掲載してございますので御覧願います。

テーマについては記載のとおりですし、テーマの隣の欄は調査内容、それからその右隣に視察先ということで具体的な都市名を記載してございます。

提案のありました内容と視察先について事務局のほうでインターネットを活用しながら事前に確認させていただいたのですけれども、いずれもテーマ、それから内容に沿った先進的な取組をされているということでございます。

なお、これに事務局案も追加しております。

参考としまして、各視察先の資料等が掲載してありますアドレスをお示ししてございますが、委員の皆様にも、その情報を御覧いただくために、現在御覧いただいている資料をメールで送付したところでございます。

この資料のアドレスの部分をクリックしていただきますと、その情報にリンクいたしますので、それらを御覧いただきイメージをしていただければと思えます。

開くまでに少し時間がかかるかと思いますが、御覧いただければと思います。

では、説明に戻ります。

まずは、公共交通から。

上からですけれども、群馬県前橋市は、市街地が低密度に形成され、自家用車依存が高く、一関市と同様に高齢化による移動に関する課題があるというところで選定しておりますし、長野県佐久市は、デマンド交通さくっと、ということで、乗り合い送迎の形で移動手段を提供するサービスを利用したデマンド交通、あとは、QRコード決済の導入ということで選定いたしました。

長野県松本市については、交通空白地帯の解消及び交通不便者等の生活に必要な移動の確保などの課題解決に取り組んでいることと、キャッシュレス決済の取組も行っていること、また、面積が978.77km²で長野県内で第1位ということで、一関市と同様に広い面積を持つということでございます。

富山県南砺市については、市町村合併に対応した路線の再編ということで選定しておりますし、静岡県浜松市についても、地域公共交通の取組をしているほか、面積が1,558.06km²ということで、こちらも、一関市と同様に広い面積を持つということでございます。

愛知県豊明市のデマンド型の乗り合い送迎サービス「チョイソコとよあけ」につきましては、地域の交通不便を解消し主に高齢者の外出促進に貢献するデマンド型交通で、民間事業者が運営主体となり、エリアスポンサーによる協賛で採算性を向上させ、また、行政と民間事業者が連携し、高齢者外出促進の「コトづくり」、これはイベント等のことのようにすけれども、こちらを推進しているということでございますし、ここは、多くの自治体から視察されているというところでございます。

以上が、公共交通の視察先の案となっております。

続きまして、空き家対策の分でございますが、まずは、宮城県名取市ですが、市内にある空き家住宅を活用して行う地域活動の取組を支援する取組として、空き家住宅の有効活用の促進及び地域活性化を図ることを目的とした補助金があるほか、民間業者との空家等除却促進に関する連携協定により、いわゆる、解体費用や土地売却査定価格を算出し、空き家解体の意思決定を後押しする取組をされております。

長野県中野市については、中野市空き家バンク事業の取組のうち、空き家活用ハンドブックのほか、官民連携事業として「100均空き家マッチング事業」や空き家DIYを通じて考えるエリアリノベーションといった取組をされているところでございます。

長野県長野市については、空き家管理事業者登録・紹介制度ということで、市に空き家を管理する民間の事業者を登録し、空き家所有者に紹介するとともに、所有者同意のもと空き家管理情報を市と地元自治会で共有する仕組みというところと、長野・門前暮らしのすすめという取組をされております。

長野県塩尻市につきましては、空き家等ハンドブックや移住を検討している人が空き家に短期滞在ができる「お試し移住」という制度があったり「ワンストップ窓口」を民間に委託して、民間で移住定住相談窓口を運営するなどしているということでございます。

静岡県掛川市については、民間と空き家対策に関する協定を締結し、地区・地域、掛

川市とが協働で、空き家問題を解決に導く取組や連雀通りコワーキングスペースで起業といった空き家を活用した取組を行っているということでございます。

最後に、公民連携のP a r k - P F Iですが、長野県小諸市の飯綱山公園の敷地内にある「S T A R R A C E K O M O R O (スタラス小諸)」について、こちらは、都市公園の利活用を推進する制度「公募設置管理制度 (P a r k - P F I)」を長野県内で初めて活用した複合施設ということでございます。

説明は以上でございます。

委員長 : 事務局からの説明が終わりました。

皆様から提案のあった視察希望テーマに沿って候補地をリストアップしたという内容でございます。

すぐに進めるのは大変だと思いますので、若干休憩して、皆様と具体的な視察のテーマ等含めてお話をしたいと思います。

暫時休憩します。

(休憩 13 : 39 ~ 13 : 45)

委員長 : 休憩前に引き続き再開します。

先ほど事務局から候補地選定の概要説明がありましたけれども、視察のテーマにつきましても、委員の皆様から提案があった内容を中心に、公共交通、空き家バンク、それから公民連携という3つのテーマに沿って、具体的には、長野県内の候補地の中から、相手との日程調整を含めて選定するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」 の声あり)

委員長 : それでは、そのように取り進めたいと思います。

それから、視察の実施期間ですけれども、他の委員会などの日程もあるかと思うので、早く決めないと重複してしまいますので、今のところ事務局から示されていますのは、まず、日程を2泊3日にするか、または1泊2日にするか、それによって日程が変わってきますけれども、前回は2泊3日にしています。

2泊3日の日程で進めていいでよろしいでしょうか。

(「異議なし」 の声あり)

委員長 : それでは、日程は2泊3日で。

それから、実施時期の案ですけれども、一つは5月22日から24日まで、第2案は7月です。

今のところ、5月22日から24日までというのが一番近い日程です。

まず、ここを基本にして、これが駄目だったら7月にまた改めて決めるということで、今の段階では5月22日から24日までの日程を選定したいと思います。

これが諸般の事情で駄目な場合は7月のいずれかの日にまた改めて日程選定したいと思っておりますので、その辺で取り進めたいと思っております。

視察につきましては、ほかに皆様から御意見ないでしょうか。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、以上で意見交換を終わります。

それでは、所管事務調査に係る先進地視察につきましては、ただいま申し上げました内容に沿って、2泊3日で具体的な先進地を選定しながら日程を決めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

視察先との調整や詳細な行程などにつきましては、正副委員長に一任願いたいと思っております。

以上、取り進めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう進めてまいります。

以上で、先進地視察についての協議を終わります。

次に、その他に入ります。

次回の委員会の開催日程について協議します。

休憩します。

(休憩 13 : 49～13 : 56)

委員長 : 休憩前に引き続き再開します。

お諮りします。

次回の委員会は、4月15日、月曜日、午後3時から開会し、終わり次第、懇親会をやるということで進めたいと思っております。

詳細につきましては、正副委員長に御一任願います。

以上のとおりに進めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう決しました。

そのほか、委員の皆様から何かございませんでしょうか。

休憩します。

(休憩 13 : 58～14 : 02)

委員長 : 再開します。

ほかに委員の皆様から何かございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、その他を終わります。
以上で、本日の委員会を終了します。
御苦労さまでした。

(午後 2 時 02 分 終了)